

(希少な動植物の出現状況)

1. 希少な動植物について—環境影響評価書における報告の位置付け

希少な動植物の定義とは『天然記念物指定種やレッドデータブック、レッドリスト等の掲載種、その他貴重種・重要種に相当する種』としている。

環境影響評価書において「沖縄県知事の環境影響評価準備書に対する意見」注) に対し、事業者の見解として「工事中に天然記念物指定種や「レッドデータブック」、「レッドリスト」等の掲載種、その他貴重種・重要種に相当する種で、環境影響評価書に記載されている動植物種以外の種の存在が埋立てに関する工事の施工区域内若しくはその近傍で確認された場合には、関係機関へ報告するとともに十分調整を図り、その保全に必要な措置を適切に講じる」こととなっている。

ここでレッドデータブック、レッドリスト等とは、沖縄県の地域特性が考慮された「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物」(レッドデータおきなわ)、環境省のレッドリスト、および水生生物を対象とした「日本の希少な野生生物に関するデータブック(水産庁編)」がある。また、「その他貴重種・重要種に相当する種」とは、法律として規定された「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の「国内希少野生動植物種」、「国際希少野生動植物種」に選定されている種が該当すると考えられる。

環境影響評価書の調査以降、希少性を判断する根拠となる環境省のレッドリスト及びレッドデータおきなわの改訂がなされている。改訂状況は次表に示すとおりであり、環境省のレッドリストについては、令和2年3月にレッドリスト2020が公開されている。レッドデータおきなわについては、平成29年5月に公開された第3版動物編に続き、平成30年6月に菌類・植物編の第3版が公開された。また、令和4年1月には「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令の一部を改正する政令」が公布され、国内希少野生動植物種が追加となっている。

注) 沖縄県知事の環境影響評価準備書に対する意見(希少な種に関する抜粋)

I. 総括的な事項に関すること(抜粋)

- (1) 埋立計画地北側の砂質性干潟及び海草類の存在する海域には、環境庁が作成した「藻類のレッドリスト」及び本県が作成した「レッドデータおきなわ」で絶滅危惧Ⅰ類及び絶滅危惧種に指定された「クビレミドロ」が生育している。(中略)したがって、当該地域については、自然環境の保護・保全に配慮するよう事業実施計画に反映されたい。

IV. 事後調査・その他に関すること(抜粋)

- (8) 工事中に貴重な動植物が確認された際は、関係機関に報告するとともに、適切な措置を講じること。

＜環境省レッドデータブック等の改訂状況＞

動物

分類群	レッドリスト 2020 (RL2020)	レッドリスト 2019 (RL2019)	レッドリスト 2018 (RL2018)
哺乳類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
鳥類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
両生類、爬虫類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
汽水・淡水魚類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
昆虫類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
陸産貝類・淡水貝類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
その他無脊椎動物	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)

注) 上段：補遺資料の公表年月日、下段(カッコ内)：レッドリストの公表年月日

植物

分類群	レッドリスト 2020 (RL2020)	レッドリスト 2019 (RL2019)	レッドリスト 2018 (RL2018)
維管束植物 (植物Ⅰ)	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
維管束植物以外 (植物Ⅱ)	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)

注) 上段：補遺資料の公表年月日、下段(カッコ内)：レッドリストの公表年月日

＜レッドデータおきなわ (RD おきなわ) の改訂状況＞

動物

分類群	第 3 版	第 2 版	初版
哺乳類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
鳥類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
爬虫類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
両生類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
魚類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
甲殻類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
昆虫類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
クモ形類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
多足類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
貝類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表

出典) 沖縄県 HP

http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/okinawa_rdb_doubutu.html

植物

分類群	第 3 版	第 2 版	初版
菌類	平成 30 年 6 月 11 日	平成 18 年 3 月公表	平成 7 年 3 月公表
植物	平成 30 年 6 月 11 日	平成 18 年 3 月公表	平成 7 年 3 月公表

出典) 沖縄県 HP

http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizenhogo/hogo/okinawa_rdb_kinrui_syokubutu.html

<環境省版海洋生物レッドリスト（環境省版海洋生物 RL）の公表状況>

分類群	初版
魚類	平成 29 年 3 月公表
サンゴ類	平成 29 年 3 月公表
甲殻類	平成 29 年 3 月公表
軟体動物（頭足類）	平成 29 年 3 月公表
その他無脊椎動物	平成 29 年 3 月公表

出典) 環境省 HP「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」
<http://www.env.go.jp/press/103813.html>

<絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の公布状況>

- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令の一部を改正する政令」（令和 4 年 1 月 4 日政令第 12 号）

2. 令和3年度調査における希少な動植物の出現状況

希少な動植物の出現状況は表2.1のとおりである。

令和3年度に見つかった希少な動植物は、鳥類24種、魚類15種、貝類42種、甲殻類18種、海藻草類11種の計110種であった。

このうち、新たに見つかった種は、鳥類のチュウヒと貝類のマドモチウミニナであった。

表 2.1(1) 令和3年度の調査における希少な動植物の出現状況

No.	種名	貴重種指定元	カテゴリー	鳥類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟生物生 息監視	比叡郡湿地		海藻草類		その他調査 (サンゴ・海 藻草類等)
								汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移植調 査	
1	カイツブリ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○								
2	リュウキュウヨシゴイ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○								
3	チュウサギ	環境省RDB	準絶滅危惧(NT)									
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○								
		水産庁	希少種									
4	ヘラサギ	環境省RDB	情報不足 (DD)	○								
		環境省RDB	絶滅危惧ⅠB類(EN)									
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)	○								
5	クロツラヘラサギ	種の保存法	国内									
		水産庁	絶滅危惧種									
		環境省RDB	準絶滅危惧(NT)	○								
6	ミサゴ	環境省RDB	情報不足 (DD)	○								
7	ツミ	RDおきなわ	情報不足 (DD)	○								
8	チュウヒ	環境省RDB	絶滅危惧ⅠB類(EN)	○								
9	サンバ	種の保存法	国内									
		環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
10	ハヤブサ	環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		種の保存法	国内									
		環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
11	シロチドリ	環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
12	ハマシギ	環境省RDB	準絶滅危惧(NT)	○								
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)									
13	ツルシギ	環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
14	アカアシシギ	環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
15	タカブシギ	環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
16	オオソリハシシギ	環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
17	セイタカシギ	環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
18	ツバメチドリ	水産庁	希少種									
		環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
19	オオアジサシ	RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
20	エリグロアジサシ	水産庁	希少種									
		環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
21	コアジサシ	RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
22	カワセミ	種の保存法	国際									
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○								
23	リュウキュウコグラー	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○								
		環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
24	サンショウクイ	環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○								
		環境省海洋生物RL	情報不足 (DD)									○
25	マダラトビエイ	環境省海洋生物RL	情報不足 (DD)								○	
26	ドロクイ	環境省RL	絶滅危惧ⅠB類(EN)					○			○	
27	アカメドキ	RDおきなわ	絶滅危惧ⅠA類(CR)									○
		環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)									○
28	コガネシマアジ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)									○
		環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)									○
29	イトヒキフエダイ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)									○
		環境省海洋生物RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○	○			
30	オキナワキチヌ	RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)									○
		環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)									○
31	シロクラベラ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)								○	
32	ジャノメハゼ	環境省RL	絶滅危惧ⅠB類(EN)					○	○			
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)									
33	トカゲハゼ	環境省RL	絶滅危惧ⅠA類(CR)		○				○			
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠA類(CR)									
34	トビハゼ	水産庁	希少種									
		環境省RL	準絶滅危惧(NT)									
35	マングローブゴマハゼ	RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)					○	○			
		水産庁	希少種									
36	マサゴハゼ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○	○			
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
37	カワクモハゼ	環境省RL	絶滅危惧ⅠA類(CR)						○			
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)									
38	キララハゼ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○	○			
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)									
39	クサフグ	環境省RL	絶滅の恐れがある 絶滅危惧ⅠC類(LP)						○			
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)									

表 2.1(2) 令和3年度の調査における希少な動植物の出現状況

No.	種名	貴重種指定元	カテゴリー	鳥類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟生物 生息監視	比叢根湿地		海産植物		その他調査 (サンゴ・海 藻等)
								汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移植圃 連調査	
40	ヒラマキアマオボネ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
41	シマカノコ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
42	ツバサカノコ(ヒロクチカノコ沖縄型)	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
43	クサイロカノコ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		
44	ミヤコドリ	環境省RDB	準絶滅危惧 (NT)					○				
45	コゲツノヅエ	環境省RDB	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
46	ヌノメカワニナ	環境省RDB	準絶滅危惧 (NT)					○				
47	ネジヒダカワニナ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
48	イボアヤカワニナ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
49	イボウミナ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
50	フトヘナタリ(イトカケヘナタリ)	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
51	ヘナタリ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
52	カワアイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
53	マドモチウミナ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
54	マンガルトツボ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
55	アマミクビキレ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
56	エドガワミズゴマツボ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
57	オハグロガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		
58	カニノテムシロ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
59	コヤスツラガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
60	ドロアワモチ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
61	ゴマセンバイアワモチ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
62	ヘソアキコシガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
63	ジュジュコシガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
64	クリノコシガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
65	ヒゲマキシノミミガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
66	ウラシマミガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
67	コハクオカミガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)					○				
68	サカマキオカミガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
69	ホソスジヒリガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		
70	ハボウキガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		
71	ミナウロコガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
72	ヌノメイチョウシラトリ (イチョウシラトリ)	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
73	トガリウユウガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
74	モモイロサキガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)					○				
75	マスオガイ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
76	タガソチモドキ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
77	リュウキュウヒルギシジミ (シレナシジミ)	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
78	イオウハマグリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
79	ダテオキシジミ	環境省RL	絶滅危惧ⅠA類 (CR)					○				
80	ハナグモリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
81	コオキナガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)					○				
82	ミナミテナガエビ	水産庁	減少種					○				
83	マンダローブテッコウエビ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
84	オキナワアナシヤコ	水産庁	減少種					○				
85	ヒルギノポリヨコハサミ	環境省海洋生物RL	情報不足 (DD)					○				
86	アカテノキリガザミ	環境省海洋生物RL	情報不足 (DD)					○				
87	アミメノキリガザミ	水産庁	減少種					○				
88	アシナガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧 (NT)					○				○
89	ミソチアシハラガニ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
90	アシナガベンケイガニ	環境省海洋生物RL	情報不足 (DD)					○				
91	モクスガニ	水産庁	減少傾向					○				
92	ミナミアシハラガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
93	ヒメヒライノモドキ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
94	タイワンヒライノモドキ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
95	ヒメマノオサガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
96	タイワンヒメオサガニ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
97	ホルトハウスオサガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧 (NT)					○				
98	ズナガオサガニ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○				○
99	シオマネキ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)					○				
100	ヤバネモク	環境省RL	減少種					○				○
101	クビレミドロ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)			○						
102	クビレズタ	水産庁	絶滅危惧種									
103	ウスガサネ	環境省RL	情報不足 (DD)									○
104	リュウキュウウスガモ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)							○		○
105	ウミヒルモ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		
106	ウミシクサ(ニラウミシクサ)	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		
107	マツバウミシクサ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		
108	ベニアマモ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		
109	リュウキュウアマモ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		
110	ボウバアマモ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)							○		

表 2.1(3) 令和3年度の調査における希少な動植物の出現状況

分類	総種数	各調査での出現種数								
		鳥類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟水生生物 息監視	比屋根湿地		海藻草類		その他調査 (サンゴ・海 藻草類)
						汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移植関 連調査	
鳥類	24種	24	0	0	0	0	0	0	0	0
魚類	15種	0	1	0	0	6	10	0	0	6
貝類	42種	0	0	0	0	38	0	4	0	0
甲殻類	18種	0	0	0	0	17	0	0	0	2
海藻草類	11種	0	0	1	0	0	0	7	0	3
合計	110種	24	1	1	0	61	10	11	0	11

注) 表中の貴重種の指定状況における凡例を以下に示した。ただし、以下の凡例には表内に出てこない区分も示した。

- 天然記念物『昭和25年法律第214号「文化財保護法」』
 特別：国指定特別天然記念物
 天然：国指定天然記念物
 県：県指定天然記念物
 市町村：市町村指定天然記念物
- 種の保存法『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年6月5日 法律第75号）』
 国内：（国内希少野生動植物種）本邦に生息し又は生育する絶滅の恐れのある野生動植物の種。
 国際：（国際希少野生動植物種）国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種。
- 環境省改訂版RL『「レッドリスト2020の公表について」（環境省，2020年）』
 EX：絶滅：我が国ですでに絶滅したと考えられる種。
 EW：野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種。
 CR+EN：絶滅危惧I類：絶滅の危機に瀕している種 - 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。
 CR：絶滅危惧II類：絶滅の危機に瀕している種 - ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 EN：絶滅危惧IB類：絶滅の危機に瀕している種 - IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 VU：絶滅危惧II類：絶滅の危険が増大している種 - 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。
 NT：準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種 - 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。
 DD：情報不足：評価するだけの情報が不足している種。
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
- 環境省海洋生物RL『「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」（環境省，2017年）』
 EX：絶滅：我が国ですでに絶滅したと考えられる種。
 EW：野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種。
 CR：絶滅危惧I類：絶滅の危機に瀕している種 - ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 EN：絶滅危惧IB類：絶滅の危機に瀕している種 - IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 VU：絶滅危惧II類：絶滅の危険が増大している種 - 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。
 NT：準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種 - 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。
 DD：情報不足：評価するだけの情報が不足している種。
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
- 水産庁RDB『「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」（水産庁，2000年）』
 絶滅危惧種：絶滅の危機に瀕している種・亜種。
 危急種：絶滅の危険が増大している種・亜種。
 希少種：存続基盤が脆弱な種・亜種。
 減少種：明らかに減少しているもの。
 減少傾向：長期的に見て減少しつつあるもの。
- 改訂・沖縄県RDB『「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版—動物編—」（沖縄県，2017年）』
 改訂・沖縄県RDB『「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（植物編）—レッドデータおきなわ—」（沖縄県，2018年）』
 EX：絶滅：沖縄県ですでに絶滅したと考えられる種。
 EW：野生絶滅：沖縄県では飼育・栽培下でのみ存続している種。
 CR+EN：絶滅危惧I類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種 - 沖縄県では現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。
 CR：絶滅危惧II類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種 - 沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 EN：絶滅危惧IB類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種 - 沖縄県ではIA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 VU：絶滅危惧II類：沖縄県では絶滅の危険が増大している種 - 沖縄県では、現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが考えられるもの。
 NT：準絶滅危惧：沖縄県では存続基盤が脆弱な種 - 現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。
 DD：情報不足：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種。
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

3. 希少な動植物に対する対応方針

事業者としては、事業の実施にあたって環境影響評価書を作成し、埋立予定地内の環境は喪失することになるが、埋立予定地以外の環境に対して極力工事の影響を少なくし、埋立予定地以外の環境を保全していくものと考えている。よって今後も、これまで行ってきた干潟生物生息監視調査などの各種調査を通じてモニタリングを継続するとともに、埋立予定地以外の周辺環境の保全に努めていくこととする。

